

ので、計画づくりの段階から、その先を見据えた仕事をしていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ありがとうございます。さっきの教育の話ともつながるんですが、もし可能であれば、この駅北のエリアが子供にとって可能性を伸ばせるような仕組みが満載になっていて、そこに親子連れが来たときに、アナログからデジタルから、また動植物とか、消防士の制服を着て頑張る姿の写真を撮るとか、そういったところの楽しいエリアにぜひしてもらいたいなというふうに思っております。で、なおかつ体験ができると。いい思い出になるという駅北エリアになることを期待をしまして、ちょっと時間がもうなかったんで、また委員会等でやりたいと思いますが、ぜひ前向きに捉えてほしいということをお願いして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で保坂議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

再開を3時15分といたします。

〈午後3時04分 休憩〉

〈午後3時15分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。〔1番 利根川 正君登壇〕

○1番（利根川 正君）

みらい創造クラブ、利根川 正です。

1回目の質問をお願いします。

1、増加する外国人の受入体制について。

6月1日より高校卒業予定者の求人の申込受付が始まりました。新潟県では、大学進学率が上昇している中、高校卒業者の就職者は減少して、糸魚川市でも依然と求人倍率は高いままです。

日本において、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、日本の50年後の将来推計人口を公表しました。それによると、総人口は、2070年には8,700万人、2020年時点から3割減少で、高齢者は4割に達し、外国人がなんと1割を占めて、およそ870万人で、その人たちが日本で生活しているという報告でした。

つまり今、日本人の若者が海外へ出稼ぎに行き、物価は高いけれども給与待遇がよく、手元に残るお金は、日本で働く以上のものになっていて、それと同じように、海外から日本へ来て働く人たちが増え、日本の経済を支えていくと考えられます。

糸魚川市においても、今後、労働力不足の問題、人口減少の問題がますます深刻化していく中において、外国人労働者が増えることについて、以下の項目について伺います。

- (1) 現在、糸魚川市内の外国人労働者の仕事内容と人数について伺います。
- (2) 外国人材雇用支援アドバイザーの設置を4月よりスタートしていますが、内容について伺います。
- (3) アパート等が不足していますが、空き家の住宅を活用できないか伺います。
- (4) 農業、漁業などの1次産業の労働力不足を解決するため、外国人労働者を受け入れる必要があると思いますが、市の考えを伺います。
- (5) 外国人労働者が働くための特定技能2号の分野を拡大する案について、市の考えを伺います。
- (6) 日本語教育、マナー指導を空き校舎、公民館等を使い、外国人向けに行えないか伺います。
- (7) 外国人が抱える疑問や不安を聞いて、サポートできる仕組みを市でできないか伺います。

## 2、災害時拠点広域駐車場について。

糸魚川市は、地滑り、水害、大雪と自然災害が多いところです。最近では、能登半島の地震や津波が心配されます。災害時において広域的な災害応急対策を迅速に実施するため、被災しない構造で設備が備わった拠点となる大型駐車場を確保する必要があります。

非常用発電装置や防災用品が備えられ、災害時に車を安全に保管することができ、避難するための拠点となり、救援物資や医療従事者の活動、復旧に向けた作業の拠点となる場所を造る必要があります。

国土交通省が令和4年3月に、全国に防災拠点自動車駐車場を指定しました。北陸ブロックとして、国道18号の道の駅あらいの自動車駐車場が指定されていますが、糸魚川市で、新たに道の駅として松本糸魚川高規格道路の建設時に防災拠点自動車駐車場を造ることができないか伺います。

## 3、権現荘の集客アップについて。

権現荘が糸魚川市直営となり、ゴールデンウィークは、スキー客とも重なり、大変なにぎわいでした。また、受付横には、子供の射的場、卓球台、遊び場を設けてあり、回数券、ポイントカードの発行など利用促進に向けて努力が見られます。

しかし、住民の声として、親戚、友人が来たときに、宿泊場所が少ないことや、昼に食事するところがないなど困り事相談を聞きます。

今年度中に、ぜひとも宿泊業者を見つけてもらい、譲渡できるようにお願いいたします。

1か月が過ぎ、権現荘の活用方法の提案をいただき、よりお客様が多く来られるように、市と一緒に盛り上げていきたいと思い、以下伺います。

- (1) 権現荘応援隊（イベント応援、情報発信、環境美化活動、事業の提案）を募集できないか伺います。
- (2) 地元業者によるビアガーデン、カラオケ大会などができないか伺います。
- (3) 権現荘の万年雪見学ツアー、シャルマン火打スキー場往復マラソンなどを実施できないか

伺います。

(4) 大部屋を開放して、トレーニング施設、コンサート、料理教室等を開催できないか伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

利根川議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、令和 4 年 1 0 月末現在、製造業などで技能実習を行う方など 2 1 2 人が届出されております。

2 点目につきましては、専門の行政書士による相談会や企業訪問を実施いたしております。

3 点目につきましては、必要に応じて空き家が活用されているものと捉えております。

4 点目につきましては、現在、外国人材確保を目的とした新たな制度への見直しが行われていることから、農業法人や漁業者等の意向をお聞きし、受入体制の整備を検討してまいります。

5 点目につきましては、熟練した技能を要する業務に従事する外国人が、より活躍できるものと受け止めております。

6 点目と 7 点目につきましては、市内の支援団体と連携し、外国人を対象とした日本語教室や生活相談業務などを実施しております。

2 番目につきましては、道の駅は、地域の情報発信や活性化が期待できる施設であり、災害発生時には、災害救助支援の活動拠点や一時避難場所として活用できる重要な施設であります。現在、道の駅の整備計画は未定であります。姫川沿線での設置について検討してまいります。

3 番目につきましては、市内で活動する団体や高校生などから、ボランティアの活動を通じ、権現荘に親しみを持っていただけるような取組を行っております。ご提案いただきました取組につきましては、地域の方と協働・連携して展開できないか可能性を探ってまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

では、2回目の質問をお願いします。

糸魚川市において、人口減少が進む中、労働力や地域活動の人材不足、また行政サービスや社会保障の維持が難しくなったり、市民生活、市政運営にも大きな影響が出ると予想されます。高校生の就職者数でも分かるように、今年、県内 3 月末の高校生の求職者数は 2, 1 9 7 人、昨年度より 1 1 % の減。それに対して求人者数は 9, 2 0 8 人、昨年度より 1 3 % 増。また求人倍率は 4. 1 9 倍となっております。これは過去最高でした。求人数でいうと、製造業が 2 3 %、宿泊・飲食サービス業が 3 3 %、運輸業が何と 4 7 % の増となり、企業にとって大変厳しい状況です。少

子化に加え、大学、専門学校に進学希望が増えていくため、また社会活動が活発化になり、ますます高校生の獲得が難しくなり、この現象が来年も続くと求人が1人も取れない企業が増え、企業の存続にまで関わる問題だと思います。新潟県と連携して、糸魚川市も高校生と企業とを結びつける手だてが早急に望まれます。大学、専門学校に進学が多くなっていく中、高校生を含めて地元就職に対して考える必要があると思いますが、例えば5年間働くという条件で、企業と市でお祝い金として車の頭金に当たる50万円を支給するなど、企業と一体となり、求人活動を進めてもらいたいと思います。

また、これは今朝の新聞なのですが、都内で大卒者で1年以上都内で就職している方で地方に移住する場合、支援金として単身者で60万円、世帯者で100万円の支給の拡大をするという方針として、政府が打ち出しております。糸魚川市も独自に上乘せして進めてもらいたいと思います。

次に、ハローワークの求人情報を見ますと、今回7ページにも及ぶ求人が載っております。糸魚川市は、常に求人倍率が高いままで、年齢制限がなしとか年齢制限を問わない企業が多くなっております。何としても働き手が欲しい状況を訴えております。

ここで聞きたいのですが、糸魚川市も企業の求人に対して、地元就職をあっせんするような活動を行っていくべきだと思いますが、例えば上越市では、7月1日に合同説明会を開催して、高校生、学生、保護者会、社会人も参加でき、こちらには37社の企業が参加する説明会があります。糸魚川市では、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今ほどご提言いただきました地元就職者の説明会等、そういったものは、当市におきましても開催させていただきます。また、私らは新卒者だけではなくて、やはりUターンなどの中途採用の方も大歓迎ですので、地元就職につきましては、家族も含めて紹介、あっせんしていただくように努めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ活発にお願いしたいと思います。

次に、深刻なのは、地元の中小企業で、こちらは高齢化しており、若い人材が欲しいと相談を受けます。募集しても応募がない状況で、ハローワークに何度も足を運んでいると聞いております。

今回なぜ外国人労働者の件を出したかという点、募集しても人が集まらない現状を理解してもらい、今後、外国人の採用を考えなければならないときに来てるのではないかと思います。

日本の人口も先ほど言いましたが、減少が続き、2070年には人口の3割減少します。全国で182万人の国内雇用全体の3%に達して、870万人の外国人労働者が、2070年には増えます。10人に1人は、外国人になります。

それでは、（１）の外国人の仕事内容と人数の件ですが、まず、糸魚川市の人口及び世帯数の合計から、昨年度５月末の外国人世帯数、外国人のみですが１９０世帯、今年４月末の外国人世帯が２９１世帯、１０１世帯増えております。男女別では、男性２１人、女性が７２人の９３名増となっております。糸魚川全体では、４月末現在、男性１６６人、女性が３１０人で、女性が多くなっております。全体で４７６人です。

ここで聞きますが、糸魚川市の外国人の中に、実習生は何人ぐらいおられるか。また、特定技能１号を持っておられる方はおられるか、お聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

本年４月末現在で、外国人の実習生は１７２人であります。特定技能１号の方は、１６人おられます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○１番（利根川 正君）

今後、その方たちがさらに増える傾向があるか、見通しがもし分かれば、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

昨今の状況を見ますと、やはり利根川議員おっしゃったとおり、外国人の方がどんどん増加傾向にありますし、やはり技能実習生の数も増加傾向にございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

今市内の半導体関連の物品を作ってる企業におかれましても、今工場を増設しているところでありまして、今後ますます外国人労働者の力によるところが大きくなっていくものというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○１番（利根川 正君）

次に、（２）の糸魚川市の外国人雇用支援アドバイザーですが、こちらは企業に対しての相談で、現在どのぐらいの相談を受けているかをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

外国人材雇用支援アドバイザーの活動ではございますが、毎月1回の相談会の実績は、残念ながら今のところゼロでございます。企業訪問によります相談件数につきましては、4月、5月で、6社、7回というふうになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

それとは別の外国人を受け入れ、あっせんする組合が糸魚川市にありますが、こちらは外国人技能実習生受入監理団体で、糸魚川地域限定、またインドネシア人の方々を紹介する組合です。糸魚川市は、この団体を確認されているかどうかを確認します。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

今ほどお問合せの団体につきましては、設立準備の段階から情報交換のほうをさせていただいておりまして、この4月に市へ設立報告のほうを頂いたところでございます。市ができる支援につきましては、実施してまいりたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

例えば市の支援できることって、どんなふうなことですか。ちょっと詳しくもし分かれば、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

やはり支援団体ということになりますと、民間の企業が主体で設立していただいておりますので、やっぱりそこに行政が加わることによりまして、安心感を与えて、来ていただく方も安心して糸魚川で働いていただけるということにもつながると思いますので、支援団体に任せるだけではなくて、市もそこに入りまして、情報交換を行いながら、糸魚川で働きやすい環境づくりというものをつくっていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足の答弁させていただきますが、いろんな面でやはり住民の皆様方とのやはり、共同生活みたいな形ができるわけでございますので、そういったところをやはり糸魚川の生活に早くに慣れるような対応なども、行政がやっぱり支援していくことも大きな事柄だろうと思っておりますので、そういった事柄とやはり慣れないところでの生活なんかもあるわけでございますので、そういった日常の生活支援などはどういう形でできるかということもあろうかと思っております。普通の仕事とか日常生活の中においては問題ないかと思いますが、市民の中に溶け込んでいくことも大事だと思っておりますので、そういったところを行政も支援できる部分じゃなかろうかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

よろしくをお願いします。

次に、（3）の外国人の住まい不足についてですが、先ほど空き家等を必要に応じて活用しているということなんですが、市内においてアパート等不足している状態を聞きます。空き家対策として、外国人に空き家を提供できないか。企業が物件を借りるか、また買うかして、数人で住んでもらい、家賃収入で支払うシステムができないか。こちら、いえかつ糸魚川さんとの協議になりますが、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えします。

現在では、市内のアパートや空き家を活用しまして居住のほうをされております。実際に、今現在もいえかつ糸魚川を活用した例もあるというふうにお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

町なかでは、かなり空き家がありますので、活用のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

次に、（4）農業漁業の労働不足の問題で、農林水産課で担い手育成、地域おこし協力隊の募集をしています。西海・高倉地区の協力隊員の募集は、なかなかありません。長い目で見て、外国人の労働者も雇用を考えなければならない時期に来てるんじゃないかと思ひます。法人に入ってもらひ、個別指導をしてもらったり、経験を積み、3年を目安にして独り立ちして、家族と共に空き家に入ってもらひ、地域住民になってもらう方向が考えられないか。アジア系の方ならできると思ひますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

人材不足が顕著な農業分野におきましても、外国人労働者は生産現場を支える貴重な人材になってくると捉えております。

ただ、受入れに当たりましては、農家の費用負担ですとか、言葉、文化の違い、また通年雇用が可能か、それとあと給与の基準等、課題が多いことから、受入側の集落ですとか農家等の意向を確認しながら検討を進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひとも地域の方と相談して、お願いしたいと思います。

次に、（５）の外国人労働者を受け入れる目的で、特定技能制度がありますが、現在１２分野を特定技能１号、こちらはビルのクリーニング、産業機械、素形材産業、電気・電子情報関連産業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食料品製造業、外食業、介護、こちら５年間働いて、２０２３年３月末で全国で１５万人ほどおられます。そして特定技能２号は、建設、船舶用工業の、この２分野のみです。熟練技能が必要で、２号は配偶者と子供も呼べる分野になっております。現在国内では、１１人のみということです。

まだ決定ではないんですが、政府は、閣議でこの特定技能２号を受け入れる、現在２分野から１１分野に拡大する方針を示しました。人材確保と育成が目的で、今回、一次産業も該当しますが、糸魚川市も早く特定技能２号者の人材確保ができるように働いてもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

在留資格特定２号への移行は、熟練した技能を有する方が、家族帯同を認められるようになりますので、市としましては、この制度拡大につきまして周知のほうを図るとともに、希望される方が、糸魚川市でも働き続けられるように、受入企業と労働者本人が、前向きに相談していただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

この制度の拡大は、２０１９年よりスタートしておりまして５年間、ちょうど来年２０２４年の



5月には在留期限を迎えます。切替時に、この特定技能2号になり、定住できるように働きかける必要があります。特定技能対象国は、ベトナム、フィリピン、カンボジア、中国、インドネシア、タイ、ミャンマー、ネパール、モンゴルです。ぜひとも人材確保をしてもらえるようお願いいたします。

特定技能資格者を受け入れるには、企業は労働時間をフルタイム8時間労働、給与水準は日本と同等、社会保険、労災、その他福利厚生を適用し、有給休暇が取得できる環境が必ず必要です。日本人と全く同じ考えです。募集には全国の外国人求職者が閲覧できるシステムがあり、国が直轄する外国人雇用サービスセンターを利用するとよいとのことでした。

次に、(6)日本語教育マナー指導ですが、地域住民の一番不安に思うのが、意思の疎通が図れないこと。日本人も外国人もお互いの文化の違いを認めながら、社会の一員として共に生きること、誰でも活動でき、活力ある地域づくりを目指さなければいけません。日本語指導、マナー指導のとき、地域住民も参加して、お互いに意思疎通を図れるため、外国人の多く住む地区の公民館等を活用を進めてもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

より近い場所で受けられないかというご趣旨だと思います。一番の課題としましては、それに伴います指導者の確保というのが一番の大きな課題ではないかと思っております。現在、年間75回の日本語セミナーを開催しております。昼間、それから夜間コースのほかに、昨年度から土曜日のコースを増やして対応しているところでございます。

また、それぞれのコースでは、一人一人の日本語のレベルに応じましてグループをつくって、少人数対応で実施しているところでございまして、多くの指導者を必要としているという現状がございます。このため、日本語ボランティア講師の養成講座というのも実施しているところですが、さらに多くの方から受講していただけるよう、さらなる周知等に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

糸魚川市では、IISA、NPO糸魚川国際人材サポート協会の方々が、企業との通訳を受けております。市役所では、外国人が生活する上で相談でき、対応できる担当者がおられるか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

お答えします。

市役所の中に対応できる職員というのはいません。英語をしゃべれる職員というのはいますけども、今現在、環境生活課においては、翻訳機等を使いながら対応しているというような状況でございます。また、市として難しいために、議員おっしゃった I I S A さんのほうに通訳業務のほうを委託しております。

また、その相談の内容というのが、やはり外国人の方、ビザとか在留カード、また永住とか国籍等の専門的な相談というのもございますので、専門性の高い相談で対応が難しいというような場合、あるいはまた、当市において対応が難しい言語の場合には、県の国際交流協会さんのほうでも電話とかメールとか、あるいはコロナ以降は Z o o m 等での対応もしていただいておりますので、補完的にそういったところのご案内もしているという現状でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひとも丁寧な対応でお願いしたいと思います。

次に、（7）災害や医療情報など、不安を取り除くため、各国対応型のホームページのお知らせ版があるべきだと思います。こちらは糸魚川市では3か国語のみの対応ですが、お隣上越市では、市のホームページを開くと、グーグルでの言語選択があり、開くとフィリピンのタガログ語、ベトナム語、ミャンマー語、英語、中国語、韓国語が全て変換できます。

外国人は、常にスマホを閲覧してます。糸魚川市でも言語選択、タガログ語、ベトナム語、ミャンマー語が必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

当市のホームページに、確かに3か国語、英語、中国語、韓国語の表示ありますが、他の言語は今表示できておりません。やはりより多くの外国人の方に見ていただくためにも必要だと思っておりますので、検討させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひともお願いします。

最近、A I チャットくんという形の母国語を簡単に変換できるのもありますので、これを利用しても、ぜひ情報発信に活用してもらいたいと思います。

また、一番大切なのは、企業との関係、企業が抱える問題など、糸魚川市の相談に応じることができる体制が必要だと思います。

1 番目の質問の最後に市長にお伺いしたいんですが、外国人が日本で働きたい理由は、処遇のよ

さ、日本文化への興味、技術の習得、キャリアアップ、治安のよさなどを上げてます。

また、問題にしているのが、意思疎通、賃金格差、労働条件、日本語教育、住まい、企業と一緒に支援していく必要があると思いますが、市長いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほどからお答えいたしておりますように、糸魚川市には、やはり人口減少であったり高齢化になっておる状況の中で、民間の企業の皆様方は働き手がなく非常に苦労されている部分がございますので、やはり外国人労働者の皆様方からお力を頂かなくちゃいけない状況であろうかと思っております。

そういう中で、市民生活においてお困りの点、そういったところはきちんとサポートをしていかななくちゃいけないだろうと思っております。その辺を糸魚川はやはりそういったことについては後発的な部分がございますので、先進事例や、そして、さらに糸魚川に住んでよかったと思われるような環境の中で対応していきたいと思っておりますし、自然のよさの中でいい思い出を持って、もし帰られるとしたら帰国してもらえばいいし、逆にここで永住していきたいというような思いを持ってもらえるようなことになってくれれば、さらにいいわけがございますので、そういった方向になるような努力をしていかななくちゃいけないだろうと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひとも永住のほうを勧めてもらいたいと思います。

次に、2の災害拠点広域駐車場について伺います。

国道8号を富山県から来た大型車は、姫川大橋手前で148号に向かい、今井地区を通り抜けていく状況を見ます。また反対に、翡翠橋を通り8号に出る大型車を多く見かけます。松本糸魚川高規格道路ができるときに休憩所が必ず必要になり、駐車場は混雑すると考えられます。特に冬の大雪のとき、8号を利用する大型車は、交通渋滞、引き返しの利かない状態で渋滞を巻き起こします。できたら安全な場所で待機してもらうのが必要だと思います。それが広域駐車場で、糸魚川と新井の場所、それから糸魚川と朝日町の両方で待機してもらうことで、渋滞がなくなるというふうに思います。緊急車両の通行も可能になり、また災害時、姫川港を拠点に災害物資の輸送の拠点となり、船積み作業の拠点ともなります。そして、長野、松本、また北陸を結ぶ拠点ともなるため、災害拠点広域駐車場が必要と考えますが、課長の考えを、もし分かればお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほどご提言のありました松本糸魚川連絡道路なんですけども、こちらのほうが完成すれば、今まで以上に物流とか、あと交通量が増えまして、休憩場あるいは駐車場といったものが、必要になってくると思われまます。

また、今ほどお話ありましたとおり、冬季間の大雪時におきましても、国道や高速道路の通行止めに伴う大型車両の待機場所も確保する必要があると思われまますので、広域的な視点においても重要であると考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

あともう一つ、メリットとして駐車場を埋め立てる土砂についてですが、こちら松本糸魚川間のトンネルで出る土砂、また親不知間の新たにトンネル工事による残土を利用することも考える必要があるんじゃないかと思われまます。

次に、3の権現荘の利用促進についてお伺いしまます。

今回、市の職員が外に出て、一生懸命働いている姿を見まます。例えば越山丸のペンキ塗りや権現荘の利用促進に向けたいろいろなアイデアを実施してあります。今回、市の職員に負けないよう地域全体で盛り上げるためにも応援隊をつくり、活動をしていきたいと考えてあります。

上越市でも、大瀧区の日帰り入浴施設の鵜の浜人魚館も地域サポーターズクラブを立ち上げ、活性化しようとスタートしまました。知恵と体力を使い、応援したいと思われまます。

また今回、6月4日に青春サポーターとして14名の高校生が、権現荘でボランティア活動してくれまました。次回もボランティア、アルバイトでまた来たいと話してあります。このような活動を一般市民も広げていけばよいと思われまます、いかがでしようか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

権現荘におきまましては、まず、フロント横の売店につきまましては、上南地区公民館の方が運営してあります。また、周辺の花壇の草取りですとか周りの草刈りを市民の方からボランティアで行ってあります。また先月は、フラダンスショーということで行っていただき、多くのお客様が来ていただくことができました。今月には、ヨガ教室ということで新たな事業にも取り組んでまいりたいと思われまます。

そんな形で地元の方を中心として、多くの方と協働する中で事業を進めたいと思われまますので、ふだん入浴いただける方を中心にサポート体制を取っていただきたいなというふうにお考えであります。

また今回、高校生におきまましては、14人の参加をいただき、青春（あおはる）サポーターとし

て、草取りや花壇の整備だけでなく、お風呂の掃除までやっていただきました。その後、お弁当を食べた後、入浴などをして、館内に何があるのかということを楽しんでいただき、それを広めていただきたいということで帰っていただきました。こういった活動につきましては、一般市民の方もぜひやりたいという声も聞いておりますので、今後、積極的に取り組んでいきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひとも活発にお願いしたいと思います。

次の（２）数年前になりますが、権現荘にて納涼会などを主催してもらい、楽しく過ごした経緯があります。今回、送迎バスなどがなくなり、提案として、地元業者による送迎つき納涼会の開催、業者が料理、飲み物を持ち込み、計画してもらい、温泉に入ってから納涼会をスタートを計画したらどうかというのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、現在送迎用のバスを持っていない状態でありまして、なかなか送迎が難しくなっておりますが、最近、地元の事業者の方と協働で送迎をしていただいた上で、また入浴していただいたり、周辺の事業者のお弁当を取っていただくなどの制度を今つくっておりますので、そういったものを周知する中で、今おっしゃるような夕方ですとか、そういったイベントについても今後取り組んでまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、（３）の、これ主催団体を募ってもらって計画してもらいたいんですが、夏の万年雪、また、紅葉のシャルマンの往復マラソンなど、権現荘を出発点に自然を楽しむ健康づくりをお願いしたいと思います。

また、（４）番では、市内の各種団体の利用促進ができるよう、場所の提供をお願いしたいと思います。

以上、提案しましたが、最後に市長、権現荘の集客に向けて、意気込み等あれば、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、非常に地元の方々が、権現荘に対して愛着を持っておられて、いろんな活動いただいております。非常に感謝いたす次第でありますし、やはり権現荘の目的を考えたときに、そういった目的をしっかりと位置づけてきたのだなというを感じている次第でございます。今この1年間は、直営をするわけでございますが、そういったところで皆様方のお力をいただく中で、この権現荘を活用したり、また皆さんの市民生活の中で生かしていただければありがたいと思っておりますし、今ほど言いましたように、高野所長の答弁にありましたように、市がやれる最大の事柄について、施設もなるべく皆様方から生かして、使っていただければ幸いと思っておる次第であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

最後になりますが、住民の望むところは、次の宿泊施設が入ってもらって、一緒になって盛り上げていくというところですので、その辺をしっかりと、できたら今年度中にお願いしたいと思います。

以上、終わりにします。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で利根川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後4時01分 延会〉